

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

# 嶮山小通信

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 28 年 6 月 30 日

7 月号

校長 山口 昭代

## 梅雨空の真下 ある日の嶮山小

校長 山口 昭代

あざみ野駅から嶮山小学校までの道のりの至る所で、色とりどりに咲く紫陽花の花と、瑞々しい葉の色とのコントラストの妙に魅了される日が続きました。紫陽花は、日本の雨の季節に、実によく似合う花だと感じます。

そんな折、栗飯原副校長先生が、校長室や保健室を始め、お客様等が集う校内の幾つかの場所に、切り花にした紫陽花を小さな花瓶に差し分けて、ゆとりある、ほっと心が和む空間をつくり出してくれています。

また、先日は、しばらくの間、ひもで仮囲いをしてあった観察池に、白い頑丈なフェンスを、ぐるりと一周設置する工事が完成しました。技術員の瀧澤さんと中野さんが、ずっと池の様子と子どもたちの動きを見守っていましたが、これでしっかりと安全も確保されました。池の中は、勢いのある水が循環し、蓮の葉が連なる中から、ピンク色の大きな花と蕾が、今を盛りと咲き誇っています。プールで歓声を上げる子どもたちの姿と水しぶきを背景に、池のメダカたちも元気を取り戻したように素速く動き回って、その存在を示しています。

体育館前の田んぼエリアには、田植えを済ませたコシヒカリの苗が鮮やかな緑に輝き、校舎周りの花壇には、ありとあらゆる種類の野菜や果物や、花々が、確かな日々の成長を見せていて、周囲にはそれを静かに観察したり、水やりをしたりする子どもたちの姿が、当たり前、そこにあります。

この日の朝は、國學院大学の4名の女子学生のみなさんによる読み聞かせが行われました。

また、9時40分には、県立麻生養護学校元石川分教室の高校生8名が、気持ちのよい挨拶で、インターンシップ清掃活動の始まりを伝えてくれました。スポンジや洗剤を手に、それはそれはきびきびと熱心に、昇降口や出入り口ガラス戸、廊下の隅々までをぴかぴかに磨き上げます。11時を過ぎた頃、あちらこちらから、引率の先生に「先生、清掃が終わりました。点検をお願いします!!」と報告する高校生の表情には、仕事をやり終えた達成感と自信があふれています。

家庭科室では、日を置かずして、保護者の方々が小さなベルマークの仕分けや、子どもたちが着る給食の白衣のすべての修繕に取り組んでくださっています。地域交流室では、PTA 役員のみなさんが、今日も会議準備のための打合せ中です。午後は教育サポートクラブ「フレンド君の会」のみなさまが総会のために集まってくださいました。夕方には「交番パトロール」があり、地域の方々を加え、校外委員のみなさまと子どもたちの下校を見守りました。

書き切れないほどに、嶮山小学校には、親切で、働く喜びに満ちた、そしていろいろなことを正しくよく知っている、一生懸命な大人の人々が数多くいらっしゃいます。そして、すぐそばで、いつでも子どもたちのために、学校のために、力を尽くしてくださっています。

有り難いことと心から思います。私たち教職員は、日々子どもとつくる授業に、子どもと心を通わせる指導に、本気で取り組み、教師としての力量を高めていく使命があると思わずにいられません。よい学校は、例外なく「人」がつくり上げるものです。



今月も、保護者のみなさま、地域のみなさま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。